

学びのこと

Q 医療系は勉強が難しいと聞きました。子供が授業についていけないか不安です。

A 入学した時は皆初めて学ぶことばかりです。入学前から「入学前学習」を行うほか、日々の授業でわからないことがあれば教員がわかるまでフォローしています。

専門学校の授業は高校とは違い、難易度が上がったり、授業時間が長くなったりと環境が大きく変化します。中には勉強に不安を抱えたり、気持ちの切り替えが難しく感じる学生もいます。

本校では「学業不振」「経済的理由」「進路変更」などといった理由による中途退学（ドロップアウト）を防ぐ為の環境づくりを入学前から整えています。また、教職員は学生がより良い環境で学べるよう、学会や勉強会、各種セミナーへ参加し、情報をフィードバックするなど、日々の研鑽を重ねています。

* 職業観の形成

オープンキャンパスや保護者説明会を開催し、お子様だけでなく、保護者の皆さまにも参加していただくことで、職業や学校、入試、進学費用などへの理解を深めていただき、将来の目標を明確にしていけます。

こうしたことで経済的理由や進路変更などといった理由によるドロップアウトの防止に取り組んでいます。



* 入学前学習

過去の振り返りや10年後の夢をマイ・ストーリー（自伝）として書いてもらい、目標を明確にします。また、入学後に必ず使われる「医療用語」、各学科で必要とされる「基礎知識」などの課題に取り組むことで、入学後スムーズに学習できるようにサポートしています。

* 基礎学力の向上

基礎学力の向上を目的とした、朝の確認テスト（医療用語、漢字、数学、検定対策など）の実施や、わからなかったことはそのまま持ち越さないよう、習熟度別に補習を行うなど、個別サポートを行っています。

* M&D learning

本校では入学前準備教育の一環としてeラーニングプログラムを用意しています。国語、社会、数学、理科、英語の5教科の基礎・基本を効率よく学び直すことができる学習教材です。授業を理解するための基礎学力や、資格試験や就職試験の対応力を身につけることができます。

* ICTの活用

学内のWi-Fi整備や授業のオンライン配信、デジタル教科書、学生生活のオンラインサポートなど、学生のやる気や学びを止めることのないよう「いつでもどこでも学べる環境づくり」に早期から取り組んでいます。



＊ 教育力の向上

前後期、年2回行う「授業評価アンケート」で学生からの意見を取り入れ、より良い授業を展開するための工夫を凝らすほか、教員同士が授業を参観する「公開授業」で授業の質的改善や向上を図ります。また、「教育基軸プロジェクト」による勉強会や「教育研修会」「教職員研修会」などの研修を通じて教職員の質を高め、さらに、学会やセミナーに積極的に参加し最新の情報を学生にフィードバックしています。

＊ 連携授業

吉田学園には、医療・福祉関連の学科が13学科があり、この職種の多さこそが、他校にはない強みです。姉妹校・保育園とのコラボ授業や学科を超えた交流を通して、学生のうちから医療人として必要な多角的な視野を身につけることが可能です。単科の学校では得ることのできない、学びの広さと多彩な環境を提供します。吉田学園のネットワークすべてで、学生の夢の実現をサポートします。

(一例)

- 歯みがき指導 (歯科衛生学科&吉田学園姉妹保育園)
- 乳幼児検診実習 (視能訓練学科&吉田学園姉妹保育園)
- 救急救命講習 (救急救命学科&歯科衛生学科・歯科技工学科・医療事務クラーク学科・視能訓練学科・臨床検査学科)
- 模擬患者実習 (視能訓練学科&医療事務クラーク学科・救急救命学科、歯科衛生学科&歯科技工学科)
- マウスガード製作実習 (歯科衛生学科&歯科技工学科&北海道スポーツ専門学校)
- 多職種連携授業 (臨床検査学科&救急救命学科&看護系専門学校)



など

＊ 学生サポート

本校ではクラス担任制をとっており、一人ひとりの学習面はもちろん、学校生活から就職活動など様々な場面でサポートする他、成績状況やお子様の様子など保護者様ともご連絡を取らせていただいております。親元を離れ、お子様の様子が不安な際などお気軽に担任までご連絡ください。

専門家による健康相談サービス

周囲の目を気にすることなく気軽に相談できる「オンライン健康相談」「テキスト健康相談」サービスを利用できます。サポートにあたるのは経験豊富な医師(精神科医)や心理士などの専門家です。放課後や空き時間を使い、自分の部屋など普段いる場所から利用できるので、リラックスした状態で相談できるメリットがあります。本校の学生・保護者の方は誰でも無料で利用することができます。

オンライン健康相談：平日13時から22時まで

テキスト健康相談：24時間いつでも受付

＊ キャリア教育

「プロ中のプロ」を目指すためには、専門技術・知識の習得はもちろんですが、希望の業界で求められる社会人としての「素養」や「人間性」も重要です。本校では生命と健康の教育の一環として、食の教育を行ったり、地域と連携した奉仕活動を行っています。また、吉田学園全体の取り組みとして「接遇やマナー教育」にも力を入れているのも大きな特徴です。

職業・就職のこと

＊将来性について

♥ 歯科衛生士

今や歯科医院はコンビニエンスストアよりも数が多く、身近な存在です。しかし、超高齢社会で口腔ケアが必要な方の増加や、予防歯科や審美歯科の普及もあり、歯科衛生士はまだ不足しています。

また、**歯科助手と違い国家資格が必要な職種なので、結婚や出産で一時離職しても再就職に有利です。**

初任給：約305,000円～152,000円

♥ 医療事務

病院やクリニック、調剤薬局など活躍の幅が広く、**少子高齢化により保健医療分野への注目が集まっていることから、今後もニーズは高まる傾向にあります。**

また、スキルを活かして結婚・出産後は短時間の勤務や週3日勤務など、**ライフスタイルに合わせて働けるのも魅力です。**

初任給：約270,000円～143,000円

♥ 臨床工学技士

生命維持管理装置の操作、それらの保守・点検まで業務は多岐にわたり、患者さんの生命に直結する重要な役割を担っています。

昨今の医療技術の高度化・進歩に伴い、**医療機器の高度化・複雑化も一層進んでおり、更なる臨床工学技士の活躍が期待されています。**

初任給：約397,000円～167,000円

♥ 救急救命士

救急救命士の多くは消防署で勤務しており、公務員であることから出動手当やボーナス等、手厚い手当や福利厚生が期待できます。また、**2021年10月に改正救急救命士法が施行され、医療機関内での業務が可能となったことから期待の高さがうかがえます。**さらに国の方針により女性救命士の需要も高まっています。

初任給：約280,000円～166,000円

♥ 歯科技工士

厚生労働省による年齢別に見た歯科技工士の数は50歳以上が約半数を占め、若い人材が不足していることがわかります。さらに**CAD/CAMやマウスガードといった新しい分野での活躍や、超高齢社会により「入れ歯」や「被せもの」などの需要は高まるばかり。**また、**医療職では珍しく将来独立・開業の道も目指せます。**

初任給：約290,000円～160,000円

♥ 視能訓練士

眼科において眼科検査、斜視や弱視の患者さんへ目の視能訓練を行います。スマートフォンの普及で子どもや若者に広がる視機能の低下、超高齢社会による白内障などの病気のケアなど**視能訓練士の業務は広がりを見せています。**その一方、眼科医1名につき視能訓練士は2～3名必要と言われていますが、**まだまだ不足しているのが現状です。**

初任給：約308,000円～170,000円

♥ 臨床検査技師

検査機器の高度化が進むにもかかわらず、知識と経験に基づいた臨床検査技師の人的能力に頼っている部分が非常に大きいのが現状です。**裏方と思われがちですが、災害医療チームや栄養サポートチーム、感染制御チームなどの一員としても活躍しています。**近年は遺伝子検査や不妊治療に伴う胚培養士としても活躍が期待されています。

初任給：約296,000円～172,000円

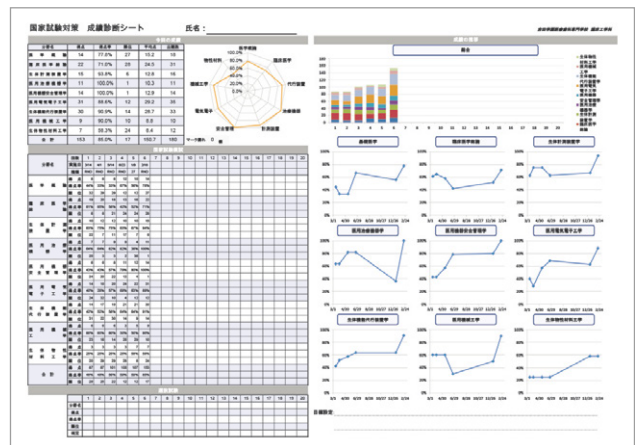


※初任給は本校求人から算出したものです。(2024年度実績)



* 国家試験対策

- 1年次から国家試験対策がスタート。国家試験の内容を取り入れた定期試験や小テストを行い、早期から国家試験対策に取り組みます。
- 国家試験対策に集中できるよう、臨床実習を早めに終わるように設定しています。
- 個人の成績はデータで管理、成績診断シートで「見える化」し、苦手分野を克服します。
- 放課後に補講を行い、個々の苦手分野を徹底カバーします。
- 模試を数多く実施し、国家試験の雰囲気をつかみます。
- 過去問題はデータ化して管理することにより、幅広い試験内容もくまなく学習できるよう工夫しています。



成績診断シート

※インターネットで合格率について検索すると全員が国家試験を受験していない(いわゆる足切りをしている)などといった情報が出てくることありますが、本校は卒業学年全員が国家試験受験を目指しており、取得した資格を活かした就職を斡旋しています。

* 就職サポート

- 就職の希望調査や個別面談を早期から実施し、学生の就職意識を高め、見学実習で将来像を描きます。
- 履歴書の書き方はもちろん、メイクレッスンや社会人として必要な接遇マナーも学びます。
- 求人開拓や個別面談など学生の夢を叶えるため、クラス担任も一緒に就職活動に取り組みます。面接指導も個別で行うなど、一人ひとりに合った指導で就職内定までしっかりサポートします。

* 卒業後のフォロー

万が一、卒業までに資格取得・就職内定ができなかった場合には、何度でも継続してフォローします。その結果、希望するほとんどの学生が夢を実現させています。また、転職などの相談にも応じ、求人票を開示しています。

- 国家試験対策の補習への参加
- 遠方の卒業生には模擬問題の送付・メール等での対応
- 求人票の紹介、面接指導 など

主な就職先

HOYA(株)/JCHO札幌北辰病院/KKR札幌医療センター/愛心メモリアル病院/青森県立中央病院/旭川医科大学病院/旭川赤十字病院/石狩病院/イムス札幌消化器中央総合病院/インプラントオフィス大通/王子総合病院/小樽掖済会病院/帯広厚生病院/(株)第一岸本臨床検査センター/(株)クリアデンタル/(株)札幌デンタル・ラボラトリー/釧路赤十字病院/釧路東部消防組合消防本部/ささもと眼科クリニック/札幌医科大学附属病院/札幌歯科口腔外科クリニック/札幌市消防局/札幌心臓血管クリニック/札幌徳洲会病院/札幌東徳洲会病院/札幌臨床検査センター(株)/市立札幌病院/市立室蘭総合病院/市立稚内病院/スマイルオフィスデンタルクリニック/ちだ歯科クリニック/手稲深仁会病院/東京消防庁/とかち広域消防事務組合/苫小牧日翔病院/なの花薬局/函館中央病院/鳩が丘歯科クリニック/日之出歯科診療所/弘前大学医学部附属病院/北海道医療センター/北海道医療大学病院/北海道がんセンター/北海道勤労者医療協会/北海道大学病院/本田眼科/真駒内みどり眼科/余市協会病院/和田精密歯研(株) 他

大学と専門学校の違い

Q 大学と専門学校、何が違うのでしょうか？

A 大学の目的は「研究・幅広い知識を習得」することであるのに対して、専門学校の目的は「その職業に就くための知識・技術・資格を取得」することです。

* 大学と専門学校の違い

大学は学校教育法第83条で「学問・研究のための機関」、専門学校は学校教育法第124条で「就職若しくは実際生活に必要な能力を育成する機関」と位置付けられています。

また、①修業年限2年以上 ②課程の修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上 ③試験等により成績評価を行い、それに基づいた課程修了の認定を行っていること といった3つの要件を満たしている専門学校を卒業した者は「専門士」の称号が与えられます。

♥ カリキュラムについて

専門学校のカリキュラムは専門性が高く、総授業時間数の約8割が専門科目となっています。大学の学問的専門科目が約6割程度なので、専門学校がどれだけ実践的専門分野に重点を置いているかが分かります。また、卒業後に即戦力として活躍できるよう、学内外での実習時間が豊富なのも専門学校の特徴です。

♥ 就職・資格について

大学の就職活動は原則として学生自身が行いますが、専門学校では担任と就職支援担当者が連携を図り、個別面談や面接指導など個々に合わせた就職支援を行っています。資格についても大学によっては選択受験となっている学校もあるのに対し、本校では卒業学年全員が国家試験受験を目指します。

♥ 教員・環境について

大学・短大の教授などは研究者が多いですが、専門学校の教員はその分野で長く実務経験を持つプロフェッショナルばかりです。また、専門学校はその職業に就くための専門性の高い知識・技術・資格を取得することを目的としているため、教員の有資格者数や実習機材、臨床実習施設の確保など厳しく規定されています。本校では基準をクリアした充実の施設・設備の中、救急隊隊長経験者や医療現場で活躍してきた教員が多数在籍、その経験を活かし専門的技術に加え実践的知識・技術を学生に教授しています。

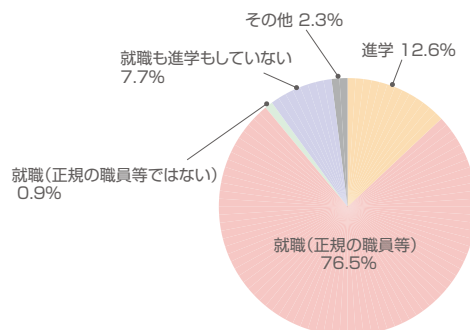
* 「なんとなく」大学へ進学すると

大学へ進学した動機が「幅広い教養を身につけたい」「学校生活を楽しまたい」といった理由が上位なのに対し、専門学校へ進学した動機は「専門的知識・技術を修得したい」「資格や検定を取得したい」が上位の理由となっています。

大学全入時代といわれる昨今、安易な理由で進学しても、授業に面白みを感じられず中途退学をしてしまったり、時間を無駄に過ごしてしまう人も少なくありません。

また、大学卒業後の進路を見ると、就職者は76.5%、大学院・専門学校・留学などの進学者は12.6%、就職も進学もしていない人が7.7%となっています。最近では、大学卒業後や在学中に、希望の職種へ就くために「専門技術を身につけたい」「有利な資格を保有したい」という理由で専門学校に再進学する例も多く見られ、今後も増加傾向にあると言われています。

〔大学卒業者の進路〕



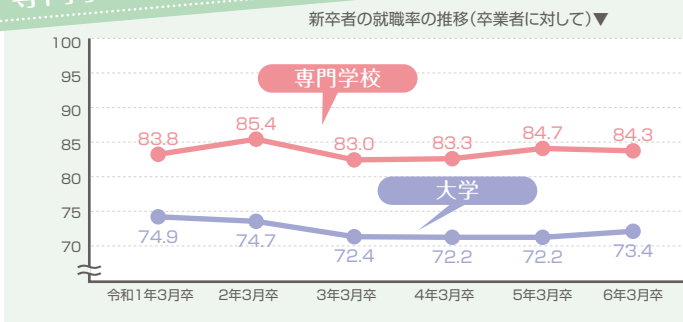
出典：文部科学省「令和6年度 学校基本調査」



＊不況にも強い専門学校の専門就職率

グラフを見ると、専門学校新卒者の就職率は常に85%前後を維持し、景気に左右されず常に安定しているといえます。特に、医療分野の就職は国家資格が必要なことや超高齢社会に伴う人材不足の理由もあり、その殆どが学んだ分野への就職（専門就職）を決めています。本校では1期生から毎年高い専門就職実績を誇っています。

専門学校・大学の就職率推移



出典：厚生労働省北海道労働局「令和6年3月新規大学等卒業者の就職状況」

＊大学の方が有利なの？

ほとんどの病院・施設では大学卒と専門学校卒の業務内容や待遇に違いはありません。業種によっては勤務年数に応じて給与が変わるほか、早く就職して現場でのキャリアを積み、スキルアップすることで昇給へとつなげることができます。また、採用担当者からは専門学校卒の方が「実習時間が長いので実践経験が多くて即戦力として期待できる」といった声も聞かれます。

臨床検査技師を目指す場合の4年制大学と学費を比較

本校では、4年目からは臨床検査技師として医療に貢献！

	1年次	2年次	3年次	4年次
本校	学費1～3年目 支出：3年間で約401万円			4年目は就職 給与約350万円
	学費1～4年目 支出：4年間で約670万円			
A大学	学費1～4年目 支出：4年間で約670万円			

※入学金+授業料で算出

＊職業実践専門課程

2014年4月より文部科学大臣認定の「職業実践専門課程」がスタートしました。企業などと密接に連携し、より実践的な教育を行っている専門学校・学科が認定されるもので、本校も医療機関や企業・業界とタッグを組み、業界の最新知識や技術を身につけられる環境と実績が評価され、全ての学科が「職業実践専門課程」に認定されています。

本校の主な連携企業・病院

HOYA(株)／JCHO札幌北辰病院／愛心メモリアル病院／青森県立中央病院／旭川医科大学病院／アスティ歯科クリニック／石狩北部地区消防事務組合消防本部／江別市立病院／福岡小波瀬病院／北32条歯科クリニック／勤医協中央病院／勤医協苫小牧病院／釧路市消防本部／コスモ歯科クリニック／木の実歯科／札幌あゆみの園／札幌医科大学附属病院／札幌厚生病院／札幌中央病院／札幌徳洲会病院／札幌東徳洲会病院／札幌臨床検査センター(株)／社会福祉法人パートナー／(株)松風／市立札幌病院／市立千歳市民病院／聖路加国際病院／手稲深仁会病院／時計台記念病院／ナカジマ薬局／(株)ノアコンツェル／はくすい歯力／美瑛市消防本部／(株)富士メガネ／北海道医療センター／北海道がんセンター／北海道札幌視覚支援学校／北海道循環器病院／北海道大学病院／北海道盲導犬協会／北光記念病院／本部南渡島消防事務組／室蘭市消防本部／(株)モリタ 他

※2024年10月31日現在